

# 学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

【趣旨】 学校における児童生徒死亡事故の死因の第一位は「突然死」である。

文部科学省は「学校事故対応に関する指針（平成28年3月）」を作成、心肺蘇生やAEDの積極的活用など学校の危機対応能力の向上を呼び掛けた。また、令和3・4年度から実施している中・高等学校の新学習指導要領では、生徒が胸骨圧迫やAEDの使用など一次救命処置を身に付けることができるよう実習を通して指導することとした。

さいたま市では、平成23年9月駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成、小学校からの一貫した救命教育を推進している。このように小学校から取り組む自治体は全国に広がっており、児童生徒の活躍で家族や市民の命が救われる事例が増えている。

フォーラム第1部では、教諭による救命教育（心肺蘇生やAEDの活用）の公開授業を行い、第2部では医師等医療・救急関係者、学校や教育委員会、文部科学省等教育関係者、保護者などによるシンポジウムを通じて、「学校での突然死ゼロ」を目指す取り組みを探求する。

## 2023年2月4日（土） 13:30～16:30

### 川越市立中央小学校

（川越市中原町1丁目25番地）

西武新宿線本川越駅より徒歩 5分

東武東上線川越市駅より徒歩10分

JR川越駅より徒歩15分

- ・西門または東門よりお入りください。
- ・車でご来場の方は近隣の駐車場をご利用下さい。

参加無料

要事前申込



参考：小江戸川越マップ

<http://www2.wagmap.jp/kawagoe/>

主催 日本AED財団

共催 川越市教育委員会、日本臨床救急医学会

後援(予定含む)

文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁、日本医師会、日本赤十字社、日本学校保健会、全国学校安全教育研究会、公益財団法人 日本心臓財団、川越市、埼玉県教育委員会、埼玉医科大学総合医療センター、川越市医師会、川越地区消防組合、NHKさいたま放送局

協賛 川越市医師会



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>

# 学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

## プログラム

Schoolフォーラム 13:30 開始(受付開始 13:00)

### 第1部 救命教育の公開授業

(13:45～14:30)

川越市立中央小学校 6年生

授業者:教諭 鈴木 敏之



公開授業の様子(さいたま市)

### 第2部 シンポジウム(14:50～16:30)

挨拶 川合 善明 川越市長

座長 桐淵 博 (日本AED財団 理事・元さいたま市教育長)

「子どもたちの命を守るために～ASUKAモデルへの思い～」

ASUKAモデル関係者・桐田明日香さんのお母様 桐田 寿子

「命を守る教育の実践」

川越市立中央小学校 教諭 鈴木 敏之・大平 匠

「川越市いのちの教育の実践」

川越市教育委員会学校教育指導課 指導主事 千代田 和也

「教育機関と連携し心肺蘇生普及を行った経験」

かわごえファミリークリニック 院長 浅野 祥孝

「救命教育の推進」

埼玉県教育局西部教育事務所 指導主事 墨谷 悦史

「子供の命を守るこれからの学校安全」

文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課  
安全教育推進室 安全教育調査官 森本 晋也

情報提供 「救命サポーター team ASUKA」等 日本AED財団 立川 法正

挨拶 新保 正俊 川越市教育委員会教育長

#### 申込み方法

QRコード、または下記URLから、お申込みをお願い致します。

※ シンポジウムのWEB参加を希望される方も申込みをお願い致します。

申込みフォームURL: <https://forms.gle/Vb33UPZpiojWEeLA8>

【申込締切】 2023年1月26日(定員 170名)

会場は定員になり次第締め切りとさせていただきます。ただしWEBによる参加は可能です。

申込みフォームQRコード

※ 新型コロナの感染状況により、開催直前に中止を判断する場合がございます。その際は、財団HPでお知らせ致します。



公益財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>